

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

春。雪解け日和。

皆さま、こんにちは。笠木かおるです。
「かおる通信」54号をお届けします。
春夏秋冬をサイクルに年4回発行して
きた「かおる通信」。これからも日常
活動の報告と発信に心がけながら、
議員活動をすすめる決意です。



旭川市議会議員 **笠木かおる**

元旦の朝。街頭に立ちました。

凜とした元旦の朝が大好きです。
今年も1月1日、初当選以来12年
間続けている「元旦街宣」を行いま
した。途中、5町内会の新年会にも
顔をだしました。終わってみれば寒
気がしてのどの痛みを覚える新年の
幕開けでした。(写真：元旦の日。旭正10町内会の皆さんと)



総務常任委員長として、締めくくりの仕事。



総務常任委員長の任につき2年がたちました。
平成23年度の予算等審査特別委員会分科会委員長の仕事が、三期
目の最後の仕事となりました。
2年間の任期で、開村120年事業や中心市街地活性化基本計画な
どを所管しました。先人が未開を拓き、踏みしめてきた大地。これだ
けの短期間で、こんなに豊かな地域を作り上げた所は他にありません。
人間のすごさ、「力」に学びながら、これからも一生懸命に街づくりに
がんばります。

連合後援会事務所びらきに300人。

笠木かおる連合後援会(山川
博千会長)事務所が豊岡4条
6丁目・谷木工さんの建物に
移り2月19日、事務所びら
きが行われました。
当日は後援会の皆様、300
人にご参加いただき、山川
会長やご来賓の挨拶に続き、私は「一票の重みを毎日感じながら、この
4年間、必死に走り続けてきました。これからは一つひとつの課題と
真剣に向き合い、今以上に元気で安心の旭川づくりに全力を尽くしま
す」と決意を述べさせていただきました。
お近くをお通りの際は是非お立ち寄りくだされば幸いです。



ふれあい・いきいきサロン



千代田地区社会福祉協議会(田中啓一
会長)や愛宕地区社会福祉協議会(関口
義雄会長)で毎月行われている「ふれあ
い・いきいきサロン」にゲストとして顔
をだしています。
孤立や孤独、無縁社会といった、いま
の社会現象に対し、こうした取組みは「絆社会」づくりにとってとても大
切な事業となっていきます。しっかり応援していきます。(写真：千代田
地区のいきいきサロンで久しぶりに百人一首を楽しみました)

旭川屯田会

1月31日、旭川屯田会(三上善三郎
会長)の定期総会が開かれました。私
は大正10年、富山県下新川郡から東
旭川町上兵村に入植した開拓民の3世
です。総会懇親会で乾杯の音頭をとら
せていただきながら、これからも屯田・開拓の歴史と労苦を後世につなげ
ていきたいと、思いを強くしました。旭川神社前の旭川兵村記念館は歴史
の宝庫です。是非、ゆっくりとご覧ください。



旭川美容協会の相談役に。



このほど、縁あって旭川美容協会の相
談役に仰せつかりました。昨年7月に大
雪アリーナで開かれた北海道美容技術
選手権大会をお手伝いさせていただ
いたことが今回、委嘱をうけたきっかけ
ようです。
旭川美容技術の水準は非常に高いものがあり、それが旭川の経済や雇用
にもつながっています。これからも業界の皆さまの斬新な感性で「きれい
で、おしゃれな」旭川を演出してほしいと思います。



1月3日、3人目の孫「ひなた」が誕生しまし
た。初めての女孫です。太志くんは4月、愛宕
東小に入学。匡志君は今年もエール保育園でが
んばります。皆、すくすく成長しています。

東日本大震災で被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

第1回定例会・大綱質疑の報告です。

新年度の予算を決める第1回定例会は2月21日に開かれ、3月24日までの32日間の会期で開かれました。

新年度の一般会計予算は2年連続、前年度を上回り、21億円増の1556億円となりました。しかし、生活保護費や子ども手当などの扶助費が29億円増えており、政策的な予算は依然厳しいなかでの予算編成となりました。



私は、本会議で大綱質疑にたち、23年度予算に対する西川市長の所見を大綱的にいただきました。

以下、その要旨を報告します。

市民相談ネットワークの早期構築

(笠木) 市長公約の「市民悩み相談ネットワーク」は、どのように構築していくのか。

(答弁) 23年度に庁内検討会議で検討・調整を重ね、24年度に相談体制を確定し、早い時期に実施する。

【解説】これは、孤立や孤独、無縁社会、自殺者の増加、児童虐待といった、いまの社会現象に対して、行政が24時間365日体制で相談・通報を受け付け、病院や警察、消防など、関係機関につなげるネットワークです。実現すれば素晴らしい事業です。



「いこいの家」の拡充を



(笠木) 現在、「いこいの家」の新設は認めていないが、地域の新設要望に応えられないか。

(答弁) バランスや地域実情を考慮しながら、新設の可能性について検討して行く。



【解説】昭和31年に創設された「いこいの家」は現在、市内に149箇所設置されています。西川市政がめざす「絆社会づくり」にとって、大切な事業であり、新設を認めるべきと主張しています。

企業立地・企業誘致

(笠木) 企業立地・企業誘致をどうすすめるか。

(答弁) 企業立地や誘致の優遇制度を大幅に見直すとともに、優位性や魅力を積極的に訴え、企業誘致につなげていく。

(笠木) 第4期工業団地の造成着工までの間、土地の有効利用を考えるべきだ。

(答弁) 当該予定地の有効な活用については、引き続き関係機関等と協議を重ねていく。

【解説】第4期工業団地の造成が凍結されてから既に15年が経過しています。旭川市は本市の優位性を活かし、データセンターの誘致等に力を入れています。現在まで見通しが立っていません。造成までの間、予定地の有効活用について、地元市民委員会などとともに、市に申し入れを行っています。



東光スポーツ公園・サッカー場の整備

(笠木) 東光スポーツ公園の球技場の整備について、その計画内容を示されたい。

(答弁) メインとサブの2面を整備する。観客スタンドは2面合わせて1万人。正面の一部をベンチ方式。2面とも人工芝での整備を計画している。工事費は約7億円で、平成27年の供用開始をめざす。



【解説】グラウンドは人工芝で整備することになりました。自然芝に比較して施工費は割高ですが、将来の維持管理費を含めるとほぼ同額となり、芝生維持のための利用制限も少なく、大いに市民に使っていただけることが期待されます。



動物愛護センター



(笠木) 23年度に着工する動物愛護センターは、どのような機能をもって開設されるのか。

(答弁) 今年度8月に工事着工し、来年9月のオープンをめざす。収容されたいぬ・ねこの譲渡の推進はもとより、動物愛護の普及啓発の拠点機能をもたせていく。

【解説】現在の第3庁舎分庁舎（市内6-10）を取り壊し、動物愛護センターが整備されます。市内中心部での整備については、様々な議論がありましたが、動物愛護精神の醸成などをめざし、中心部での整備に踏み切ることになりました。



このほか、北彩都地区のシンボル施設構想、丸井今井跡の「フィール旭川」の施設内容、市営パークゴルフ場の運営方法、廃棄物最終処分場の延命策、社会福祉協議会との連携強化などについて質疑にたちましたが紙面の都合で割愛させていただきます。

パークゴルフのシーズン到来。今年も全力。



旭川市パークゴルフ協会（鈴木稔会長）の平成23年度総会が1月16日に開かれました。私はあいさつで、「親・子・孫の3世代スポーツとしてパークで健康づくり。愛好家を燎原のごとく広げよう」と訴えました。引き続き、旭川市パークゴルフ協会の、顧問の委嘱を受けました。

障がいをもった仲間との新年会



1月12日、身体障害者療護施設・共生園の新年会に顔をだしました。カラオケを歌い、「明るく笑顔の共生園をみんなで創っていこう！」とあいさつしました。

今年の1月は、大変多くの新年会のご案内をいただきました。1件でも多く出席しようと心がけました。「遅れたり、途中退席したり」の失礼をお許しください。ありがとうございました。